

# 和漢診療部

助教授 寺澤捷年  
助手 土佐寛順  
助手 檜山幸孝  
文部技官 鳥居塚和生

## ◆ 著者

- 1) 寺澤捷年：神経・筋疾患と和漢治療薬。「臨床薬物治療学大系・20 和漢医薬学」大塚恭男他編，109-124，情報開発研究所，1987.

## ◆ 原書

- 1) Toriizuka K., Zhang Tie Zhog, Terasawa K., Okamoto M. and Tosa H.: Effects of Tôki-syakuyaku-san on blood viscosity and platelet functions in normal subjects. J. Med. Pharm. Soc. WAKAN-YAKU 4: 20-25, 1987.
- 2) Terasawa K., Itoh T., Tosa H., Shiroishi H. and Imadaya A.: Therapeutic effect of Sino-Japanese (Kampoh) medicine on bronchial asthma. J. Med. Pharm. Soc. WAKAN-YAKU 4: 65-72, 1987.
- 3) Toriizuka K., Nishiyama P., Adachi I., Kawashiri N., Ueno M., Terasawa K. and Horikoshi I.: Isolation of a platelet aggregation inhibitor from Angelicae Radix. Chem. Pharm. Bull. 34: 5011-5015, 1986.
- 4) Adachi H., Konishi K., Toriizuka K. and Horikoshi I.: The *in vitro* effects of tannic acid on rat liver mitochondrial respiration and oxidative phosphorylation. Chem. Pharm. Bull. 35: 1176-1182, 1987.
- 5) 伊藤 隆，寺澤捷年，檜山幸孝，三瀧忠道，土佐寛順，今田屋章：赤丸料の適応病態に関する一考察。日本東洋医学雑誌 37: 199-206, 1987.
- 6) 寺澤捷年，土佐寛順，檜山幸孝，三浦圭子，今田屋章：奔豚気病に関する一考察(I)－奔豚気病の治療経験と文献的考察。日本東洋医学雑誌 38: 1-10, 1987.
- 7) 土佐寛順，寺澤捷年，檜山幸孝，三浦圭子，今田屋章：奔豚気病に関する一考察(II)－奔豚気病の病態生理的側面。日本東洋医学雑誌 38: 11-16, 1987.
- 8) 寺澤捷年，土佐寛順，檜山幸孝，三浦圭子，今田屋章：奔豚気病に関する一考察(III)－奔豚誘発試験法による病型分類。日本東洋医学雑誌 38: 17-23, 1987.
- 9) 檜山幸孝，渡邊裕司，三浦圭子，杉田昭栄，田

中宏一，寺澤捷年：ドーパミン系除神経ラットの線条体へ移植した胎仔神経細胞による運動機能の改善。日薬理誌 90: 125-132, 1987.

- 10) 三瀧忠道，横澤隆子，大浦彦吉，寺澤捷年：大黃並びに大黃含有漢方方劑による慢性腎不全の治療に関する研究。日腎誌 29, 195-207, 1987.

## ◆ 症例報告

- 1) Terasawa K., Tosa H., Wakaki K. and Koizumi K.: An autopsy case of rheumatoid arthritis with scirrhous infiltration of gastric carcinoma in the synovial tissue. Jap. J. Rheumatology, 1: 99-104, 1986.
- 2) Terasawa K., Shimada Y., Hiyama Y. and Mizukoshi K. A case of hypothyroidism with cerebellar ataxia. Chiba Igaku Zasshi. 63: 205-210, 1987.

## ◆ 総説

- 1) 寺澤捷年：漢方医学における「冷え症」の認識とその治療。生薬学雑誌 41: 85-96, 1987

## ◆ 学会報告

- 1) Terasawa K.: Present situation of traditional Sino-Japanese (Kampoh) medicine currently practiced in Japan. Twenty-eight Annual Meeting of The Society of Economic Botany, Satellite Symposium "Role of Plants and Traditional Medicine in Primary Health Care", 1987, 6, Chicago.
- 2) Hiyama Y., Watanabe H., Miura K. and Terasawa K.: Functional recovery by rat embryonic brain cells transplanted into the striatum of rats with 6-hydroxydopamine lesions. Xth International Congress of Pharmacology, 1987, 8, Sydney.
- 3) Terasawa K.: On the significance of combination usage of several medicinal plants in Kampoh medicine. The Satellite Meeting on Kampon Medicine (Japanese Herbal Medicine) in conjunction with 10th International Congress of Pharmacology, 1987, 8, Auckland.
- 4) Terasawa K.: Hematological research in Xue Zheng. International Symposium on Therapeutic Principle of Huoxue Huayu, 1987, 10, Tianjin.
- 5) Shintani T. and Terasawa K.: The pharmacological action of Huoxue on the arachidonic metabolism of the platelets. International Symposium on Therapeutic Principle of Huoxue Huayu, 1987, 10, Tianjin.
- 6) Kawaguchi M., Ishizawa S., Okada H., Shimoda F., Nakagawa H., Mizukoshi K. and Koizumi F.: Quantitative study on Phagocytosis of tonsil mac-

- rophages by flow cytometric and immunohistochemical methods. International symposium on Tonsils (1st), 1987, 10, Kyoto.
- 7) 檜山幸孝, 土佐寛順, 寺澤捷年:「奔豚」-自律神経発作-血中カテコラミン動態よりの検討. 第759回千葉医学会例会, 1986, 12, 千葉.
  - 8) 寺澤捷年:神経内科疾患の漢方治療. 第22回日本医学会総会, 1987, 4, 東京.
  - 9) 寺澤捷年, 熊谷 朗, 土佐寛順:「証」の新しい視点. 第22回日本医学会総会, 1987, 4, 東京.
  - 10) 松田治己, 檜山幸孝, 土佐寛順, 寺澤捷年:桂枝茯苓丸投与による四肢血流の変化. 第38回日本東洋医学会学術総会, 1987, 5, 東京.
  - 11) 寺澤捷年, 土佐寛順, 今田屋章, 藤平 健:六鬱湯治験. 第38回日本東洋医学会学術総会, 1987, 5, 東京.
  - 12) 嶋田 豊, 土佐寛順, 城石平一, 三瀧忠道, 寺澤捷年:舌と胃内視鏡所見の関連性について. 第38回日本東洋医学会学術総会, 1987, 5, 東京.
  - 13) 土佐寛順, 寺澤捷年, 檜山幸孝, 三浦圭子, 坂東みゆ紀:舌診の研究-血液粘度と血中カテコールアミンとの相関について. 第38回日本東洋医学会学術総会, 1987, 5, 東京.
  - 14) 津田昌樹, 三瀧忠道, 伊藤 隆, 寺澤捷年:小児鍼(皮膚鍼)による温補の効果と湯液における証との関連について. 第38回日本東洋医学会学術総会, 1987, 5, 東京.
  - 15) 檜山幸孝, 寺澤捷年, 三浦圭子, 渡辺裕司, 関原俊一, 須田浩守:ラット胎仔の中脳腹側神経細胞移植による黒質・線条体ドパミン系障害機能の回復とその応用性について. 第28回日本神経学会総会, 1987, 5, 東京.
  - 16) 寺澤捷年:漢方医薬における瘀血の概念と消化器疾患. 第30回日本消化器外科学会総会(特別講演), 1987, 7, 東京.
  - 17) 三瀧忠道, 寺澤捷年:慢性腎不全に対する和漢薬治療の経験. 第4回和漢医薬学会, 1987, 8, 富山.
  - 18) 城石平一, 鳥居塚和生, 寺澤捷年, 堀越葉子, 中川秀夫:漢方方剤による抗炎症作用-急性および慢性炎症モデルに対する抑制効果. 第4回和漢医薬学会, 1987, 8, 富山.
  - 19) 後藤博三, 嶋田 豊, 三瀧忠道, 檜山幸孝, 土佐寛順, 寺澤捷年:慢性関節リウマチに多発性筋炎ならびに橋本病を合併した1例. 第41回北陸医学会総会, 1987, 9, 富山.
  - 20) 後藤博三, 嶋田 豊, 城石平一, 三瀧忠道, 檜山幸孝, 寺澤捷年:疎経活血湯が著効を示した糖尿病性ニューロパチーの2症例. 第13回日本東洋医学会北陸支部例会, 1987, 10, 福井.
  - 21) 霜田ふゆみ, 栗林秀樹, 城石平一, 三瀧忠道, 檜山幸孝, 寺澤捷年:慢性関節リウマチにおける食事療法の経験. 第13回日本東洋医学会北陸支部例会, 1987, 10, 福井.
  - 22) 小暮敏明, 高橋宏三, 新谷卓弘, 栗林秀樹, 土佐寛順, 寺澤捷年:和漢治療により長期観察しえたPSSの1例. 第13回日本東洋医学会北陸支部例会, 1987, 10, 福井.
  - 23) 鎌田晃影, 嶋田 豊, 新谷卓弘, 三瀧忠道, 土佐寛順, 寺澤捷年:温清飲が奏効した成人発症のStill病と類乾癬の2例. 第13回日本東洋医学会北陸支部例会, 1987, 10, 福井.
  - 24) 三瀧忠道, 寺澤捷年, 横澤隆子, 大浦彦吉:慢性腎不全患者における和漢薬治療の腎機能障害進展に対する抑制効果の検討. 第30回日本腎臓学会総会, 1987, 10, 東京.
  - 25) 川口 誠, 石沢 伸, 小竹 彌, 斉藤光和, 霜田ふゆみ, 小泉富美朝:扁桃内マクロファージの貧食能測定, および免疫組織化学的検討. 第76回日本病理学会総会, 1987, 4, 東京.
  - 26) 小竹 彌, 川口 誠, 霜田ふゆみ, 吉田 勲, 小泉富美朝:ヒト扁桃 macrophage の研究:培養系における壁付着細胞の形態について(第1報), 第8回日本炎症学会, 1987, 7, 東京.
  - 27) 小竹 彌, 吉田 勲, 川口 誠, 小泉富美朝, 霜田ふゆみ, 中川 肇:ヒト扁桃における macrophage の研究(第2報):培養系における壁付着細胞の検討. 第27回日本扁桃研究会総会学術講演会, 1987, 10, 京都.
  - 28) 寺澤捷年:漢方製剤の臨床評価. 日本薬剤学会第12回製剤セミナー, 1987, 7, 茅野.
  - 29) 寺澤捷年:中枢神経系・微小循環障害に対する和漢薬治療の試み. 第780回千葉医学会例会(特別講演), 1987, 12, 千葉.
- ◆ その他
- 1) 寺澤捷年:証の科学, 第5回博多シンポジウム講演記録, 56-71, 1987.
  - 2) 寺澤捷年, 檜山幸孝, 松田治己:スモンおよびスモン類似病態に対する循環動態からみた和漢薬治療効果の検討. 厚生省特定疾患スモン調査研究班昭和61年度研究報告書, 398-401, 1987.
  - 3) 鳥居塚和生, 西山パウラ, 川尻憲行, 足立伊佐雄, 上野雅晴, 堀越 勇, 寺澤捷年:当帰中の血小板凝集阻害成分について. 和漢医学学会誌, 3,

430-431, 1986.

- 4) 横澤隆子, 大浦彦吉, 三瀧忠道, 寺澤捷年: 大黃並びに大黃含有漢方方剤による慢性腎不全の治療経験—尿中排泄成分について. 日腎誌, **29**, 213, 1987.
- 5) 寺澤捷年: 東洋医学における`気`の概念と呼吸器疾患. 呼吸器心身症研究会会誌, **3**, 50-53, 1987.
- 6) 寺澤捷年, 竹内徳雄: 小児科領域において使用される漢方薬. 小児医学, **20**, 146-165, 1987.
- 7) 関 太輔, 斉藤明宏, 諸橋正昭, 柴原直利, 寺澤捷年: Weber-Christian 病. 皮膚科診療, **9**, 24-28, 1987.
- 8) 横澤隆子, 三瀧忠道, 大浦彦吉, 寺澤捷年: 漢方薬—中国産大黃の治療経験. 臨牀透析, **3**, 1146-1151, 1987.
- 9) 寺澤捷年: 脳血管障害の漢方治療概論. 現代東洋医学, **8**(3), 11-15, 1987.
- 10) 寺澤捷年: 運動器・神経疾患と漢方. からの科学(臨時増刊)新版東洋の医学, 64-67, 1987.
- 11) 寺澤捷年: 和漢診療の実際13. 太陰病の治療について. 看護学雑誌, **51**, 70-73, 1987.
- 12) 寺澤捷年: 和漢診療の実際14. 少陰病と厥陰病の治療について. 看護学雑誌, **51**, 174-177, 1987.
- 13) 寺澤捷年: 和漢診療の実際15. 診察法の実際 [1]望診について. 看護学雑誌, **51**, 282-285, 1987.
- 14) 寺澤捷年: 和漢診療の実際16. 診察法の実際 [2]問診と切診(脈診)について. 看護学雑誌, **51**, 388-391, 1987.
- 15) 寺澤捷年: 和漢診療の実際17. 診察法の実際 [3]腹診について. 看護学雑誌, **51**, 492-485, 1987.
- 16) 寺澤捷年: 和漢診療の実際18. 証について. 看護学雑誌, **51**, 592-595, 1987.
- 17) 寺澤捷年: 漢方治療の適応について. JAMA <日本語版> **8**(2)別冊, 12, 1987.
- 18) 鳥居塚和生, 土佐寛順, 寺澤捷年: 当帰および当帰含有製剤の血液性状に対する作用. Therapeutic Research, **6**, 664-670, 1987.
- 19) 寺澤捷年, 今田屋章: 慢性関節リウマチの易感染性と漢方療法の役割. Medical Tribune, 4月9日版, 18, 1987.
- 20) 寺澤捷年: 「漢方臨床ノート・論考篇」の教えるもの. 日本東洋医学雑誌, **37**, 221-222, 1987.
- 21) 寺澤捷年: 瘀血(おけつ)の概念について. 富山県産婦人科医会報, **112**, 6-7, 1987.
- 22) 寺澤捷年: 中枢性血管障害に対する桂枝茯苓丸の応用. 和漢薬・バイオテクノロジー研究発表会講演要旨集, 2-5, 1987.

## 検 査 部

教 授 櫻 川 信 男  
助 教 授 小 熊 豊  
助 手 近 藤 信 一

### ◆ 著 者

- 1) Sakuragawa N.: Studies on Kampoh Drugs (Traditional Herbal Drugs) from the viewpoint of Blood coagulation, In Thrombosis and Hemorrhagic Diseases. by Ultin O.N. and Vinazzar Ha. (Ed), 319-325, Gozlem Matbaalik koll. Sti, Istanbul, 1986.
- 2) 櫻川信男: 出血時間. 「正常値と異常値の間」日野原重明他編, 126-131, 中外医学社, 1986.
- 3) 櫻川信男: 血液凝固因子. 「動物成分利用集成」奥山隆編, 141-165, R&D プランニング, 1987.
- 4) 櫻川信男: 凝固制御要因とグリコサミノグリカンズ. 「立山シンポジウム, IV, 凝固・線溶血小板研究—基礎と臨床」櫻川信男他編, 134-144, 八木書店, 1987.
- 5) 櫻川信男: プラスミノゲン,  $\beta$ -トロンボグロブリン. 「今日の検査指針」河合 忠他編, 570-571, 医学書院, 1987.

### ◆ 原 書

- 1) 櫻川信男, 丹羽知登世他: 合成抗トロンピン剤 (MD-805) とヘパリンの抗凝固性. 最新医学, **41**: 2870-2875, 1986.
- 2) Yamagishi R., Sakuragawa N. et al: Thrombin inhibitory activity of heparin cofactor II depends on the molecular weight and sulfate amount of dextran sulfate; Thromb. Res. **44**: 347-354, 1986.
- 3) 奥田忠行, 小西 徹, 櫻川信男他: 携帯用長時間脳波記録装置 Ambulatory EEG System (Medidata M-300) の特性に関する検討. 臨床病理, **34**: 1452-1456, 1986.
- 4) 櫻川信男, 近藤信一他: 脳血管障害における凝固線溶能と粗害因子の変動. 最新医学, **42**: 140-150, 1987.
- 5) 櫻川信男: 凝固制御機構異常とその調節因子. 日本内科学会雑誌, **76**: 8-13, 1987.
- 6) Sakuragawa N., Kondo K. et al: Absorbability of factor VIII or IX concentrates preparation using beagles; ACTA MED. BIOL. **34**: 77-83, 1986.
- 7) 櫻川信男, 鈴木茂治他: トロンピンの性状に関する研究. 最新医学, **42**: 615-623, 1987.
- 8) 櫻川信男, 霜鳥智也他: ウリナスタチンの凝血